

東南アジアの中高教員 48 名が愛媛・宮崎・東京の学校を訪問

～教育を通じた相互理解、日・ASEAN の将来的な関係構築に向けて～



画像は昨年度実施した事業の様子です

国際交流基金（JF）は、ASEAN 各国の教員を日本に招へいし、日本の教員・生徒との交流を通じて、教育現場での課題や知見の共有と、授業を通じた相互理解を促進する「日 ASEAN 中高教員交流事業」を実施しています。

本事業は 2024 年の開始以来、ASEAN 諸国から計 203 名の教員等が 8 回にわたって来日。大分県、徳島県、福岡県、広島県、山形県、富山県、宮城県、愛知県の学校にて交流を深めました。

このたび、11 月にインドネシアとカンボジアからの教員等 22 名が愛媛県と東京都の中学・高校を、またタイ、ベトナム、ラオスからは 26 名の教員等が宮崎県と東京都の中学・高校をそれぞれ訪問します。

参加者は、教育をテーマとした講義を受講するほか、教育現場の視察や教員・生徒との交流を通じて、日本の教育への理解を深め、さらには互いの国が抱える教育・社会課題等についての意見交換を行います。他にも、工科高校やチャレンジスクールなど特色のある都立高校の視察やデジタル教材等を提供する企業への訪問を予定しています。

■プログラム概要

事業名称：次世代共創パートナーシップ—文化の WA2.0—
2026 年度「日 ASEAN 中高教員交流事業」
主催：独立行政法人国際交流基金（JF）

グループ C

期間：2026 年 11 月 8 日（日）～11 月 15 日（日）
参加対象：インドネシア、カンボジアの中等教育機関に所属する教員等 計 22 名
訪問地：東京都、愛媛県
日程（予定）：
11 月 8 日（日）参加者来日
11 月 9 日（月）オリエンテーション、大日本図書株式会社、歓迎レセプション
11 月 10 日（火）松山防災リーダー育成センター、旅館宿泊体験（愛媛県松山市）
11 月 11 日（水）愛媛県立松山中央高等学校（愛媛県松山市）
11 月 12 日（木）今治市立大西中学校（愛媛県今治市）
11 月 13 日（金）都立六郷工科高校、ラップアップセッション
11 月 15 日（日）参加者帰国
使用言語：インドネシア語、クメール語

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：福島、熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp

グループ D

期 間 : 2026 年 11 月 15 日 (日) ~ 11 月 22 日 (日)
参 加 対 象 : タイ、ベトナム、ラオスの中等教育機関に所属する教員および教育行政官等 計 26 名
訪 問 地 : 東京都、宮崎県
日 程 : 11 月 15 日 (日) 参加者来日
(予 定) 11 月 16 日 (月) オリエンテーション、株式会社ベネッセコーポレーション、歓迎レセプション
11 月 17 日 (火) 飫肥城下町、和室宿泊体験 (宮崎県日南市、宮崎市)
11 月 18 日 (水) 私立宮崎学園中学・高等学校 (宮崎県宮崎市)
11 月 19 日 (木) 宮崎県立宮崎西高等学校・附属中学校 (宮崎県宮崎市)
11 月 20 日 (金) 都立大江戸高校、ラップアップセッション
11 月 22 日 (日) 参加者帰国
使 用 言 語 : タイ語、ベトナム語、ラオス語

愛媛県では、県内の公立高校では唯一、医療看護系コースを有する普通科高校「愛媛県立松山中央高等学校」を訪問します。授業や部活動の見学、生徒との交流を通じて、日本の高校教育の特色や学校生活について理解を深めます。また、「今治市立大西中学校」では、特別支援学級を含む教育活動を視察し、多様な学習ニーズに対応する包摂的な教育の実践について学びます。さらに、全世代型・全組織対応の防災研修プログラムの作成と防災教育の実践で高い評価を得る「松山防災リーダー育成センター」にて防災教育についての講話を受講し、先進的な取り組みや教育現場における危機管理の実践に触れます。

宮崎県では、ユネスコスクールとして ESD (持続可能な開発のための教育) に取り組む私立中高一貫校「宮崎学園中学・高等学校」及び、STEAM 教育や SSH (スーパー・サイエンス・ハイスクール) 指定校として先進的な教育実践を行う「宮崎県立宮崎西高等学校・附属中学校」を訪問します。各校の教育現場を視察し、日本の中等教育における特色ある教育活動や学校生活への理解を深めるほか、宮崎西高等学校では公開研究授業を参観し、授業研究の実践について学びます。

このほか、旅館での宿泊体験や歴史文化施設の見学などを通じて日本文化への理解を深め、多面的な視点から日本への理解促進を図ります。また本事業を通じて育まれる日本と ASEAN 諸国との人的交流を基盤として、世界的課題の解決に向けた国際協力や相互理解の推進に寄与します。参加者が日本で得た知識や経験は、それぞれの教育現場において授業等を通じて次世代に還元され、将来的な日本・ASEAN 関係の一層の強化につながることを期待されます。

各訪問先での交流・視察の様子について、ご取材いただけます。

招へい者へのインタビューが可能です (必要に応じて、通訳を手配いたします)。

訪問先関係者 (学校の先生、生徒など) へのインタビューや肖像権については、個別の許諾が必要です。

詳しくは、国際交流基金 ブランド推進部広報課 press@jpf.go.jp までご連絡ください。

この件に関するお問い合わせ :

国際交流基金 ブランド推進部 広報課 (広報担当 : 福島、熊倉)

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp

2025 年度 日 ASEAN 中高教員交流事業 事業報告パンフレット配布中！



昨年度の本事業の報告パンフレットが完成しました。事業の背景、各プログラムのレポート、参加者の声をまとめています。

プログラムに参加した ASEAN 教員へのアンケートでは、**全員がプログラムへの参加が「非常に有意義」あるいは「有意義」と回答しました。**

また日本の教育や指導法を自国の教育現場で導入する可能性については 98 名中 87 名が「非常に高い」あるいは「高い」と回答しました。

ぜひ、日本と ASEAN の教育者の交流の様子をご覧ください。

プログラムへの参加は
有意義でしたか？

Was your participation meaningful?



パンフレットのダウンロードはこちらから

<https://www.jpf.go.jp/j/project/intel/exchange/for-secondary-school-educators/2025report.pdf>

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：福島、熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp

「次世代共創パートナーシップ－文化の WA2.0－」について

国際交流基金（JF）は「日本の友人をふやし、世界との絆をはぐくむ。」をミッションに、「文化芸術交流」、「日本語教育」、「日本研究・国際対話」を通じて国際文化交流を推進する独立行政法人です。

JF では 2024 年から 10 年間にわたって ASEAN を中心とするアジア諸国と、互いの価値を認め合う、包括的な人的交流プロジェクト「次世代共創パートナーシップ－文化の WA2.0－」を展開しています。

日本語パートナーズ派遣事業と、双方向の知的・文化交流事業を軸に、心と心のふれあいを通じて、多層的な人的ネットワークの強化や、対象地域と日本との将来にわたる強い信頼関係の構築を目指します。

◆日本語パートナーズ派遣事業

アジアの中学・高校などで日本語を教える教師やその生徒のパートナーとして、授業のアシスタントや日本文化の紹介をする人を派遣しています。

◆双方向の知的・文化交流事業

相互理解の上に成り立つコラボレーションの機会を創出することで、人と人の強い絆を培い、世界の架け橋となる次世代人材を育てます。



次世代共創パートナーシップ－文化の WA2.0－公式サイト <https://asiawa.jpf.go.jp/>では、これまでの取り組みを記事や動画で掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

以上

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：福島、熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp